

No. 22
平成27年8月1日

自治医科大学附属病院だより

Jichi Medical University Hospital

団塊の世代と医療の2025年問題

病院長 佐田 尚宏



厚生労働省の統計によれば、日本の医療費は最新の統計（2013年度確定値）で年間39.3兆円、毎年約8,000億円のペースで増加しています。2015年度の医療費は40兆円を越えると推定されており、政府から発表された骨太方針2015では、医療費を含む社会保障費は「2020年度に向けて高齢化による増加分と消費税率引き上げとあわせ行う充実等に相当する水準におさめることを目指す」、と抑制の方針が示されています。

2014年度の診療報酬改定を契機に、「医療の2025年問題」が議論されるようになってきました。2025年は団塊の世代と呼ばれる世代がすべて後期高齢者になる年で、今後10年間人口は減少しますが、医療需要は増え続けることが想定されています。団塊の世代は1947-1949年に生まれた世代を指します。この3年間の出生数は年間260万人を超え、2014年の出生数が100.1万人であることを考えると、そのインパクトは大きく、常に日本の社会制度、経済問題の主役であった様に感じます。1960-1970年代には金の卵と呼ばれた集団就職者が大量に都市部に集まり戦後高度成長を支え、学生運動の主役であり、1980年代後半からのバブル経済期には社会の中核として日本経済発展に貢献し、サラリーマンとして一斉に退職する時期は2007年問題といわれ、そして2025年問題として現在医療界で注目されています。2008年以降日本の人口は減少局面にあるにもかかわらず、人口の高齢化によって2035年頃まで医療需要は増加すると予測されています。医療のあり方を再検討し、医療機関が構造改革を行わなければ、量・質ともに増加する医療需要に対応出来なくなることが懸念されています。

今後重要になるのは、医療需要の増加に対応するだけでなく、質の高い安全な医療を提供することで、私たちは病院を挙げてそのための体制作りに取り組んでいます。自治医科大学附属病院は治療成績の向上と関連拠点病院との連携で「医療の2025年問題」にしっかりと対応していきますので、今後とも変わらぬご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

▶ 病院長挨拶「団塊の世代と医療の2025年問題」	1
▶ Information from the Hospital「患者サービス検討委員会からのお知らせ」	2
▶ 患者さまからのご意見に対する回答／リレーエッセイ	4
▶ トピックス「外来リニューアルのご案内」	5
▶ 病気を知ろう！ 第22回「带状疱疹について知っていますか？」	6
▶ 診療科・部門のご案内「小児移植外科」「臨床工学部」	8
▶ 秋の味覚レシピ「きのこ炊き込みご飯」	10
▶ 検査の豆知識	11
▶ お知らせ掲示板	12

患者サービス検討委員会からのお知らせ

平成26年12月1日(月)に、外来アンケートを実施しましたので、集計結果をご報告いたします。これらの結果やいただいたご意見を真摯に受け止め、今後も更なる患者サービスの向上に努めます。

アンケートにご協力くださいました皆様に深く感謝申し上げます。

配布枚数 2,002枚

(本院:1,781枚・子ども医療センター:221枚)

回収枚数 1,243枚

(本院:1,116枚・子ども医療センター:127枚)

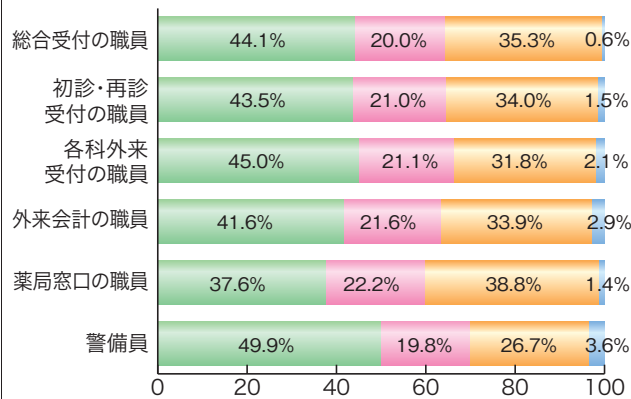
回収率 62.1%

(本院:57.5%・子ども医療センター:62.7%)

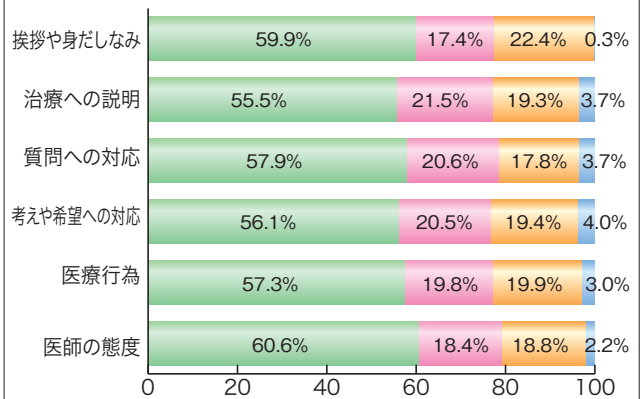
1 職員や設備等に対する満足度について

■満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満または不満

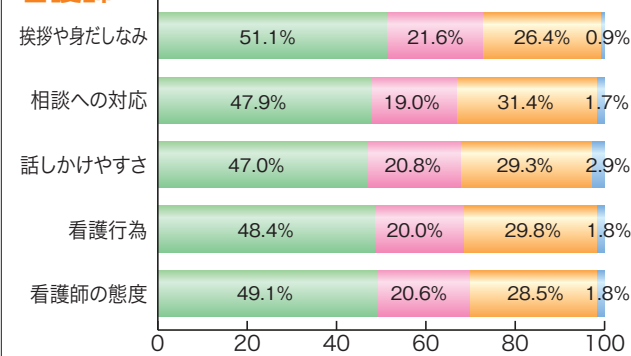
受付・窓口・警備員



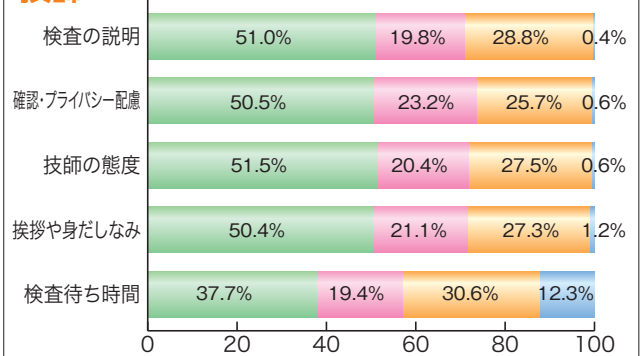
医師



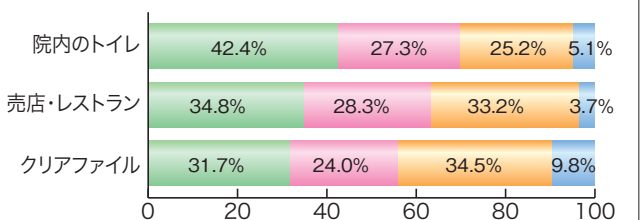
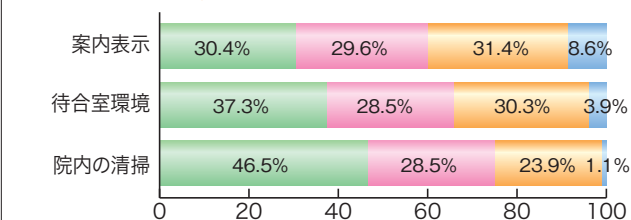
看護師



技師

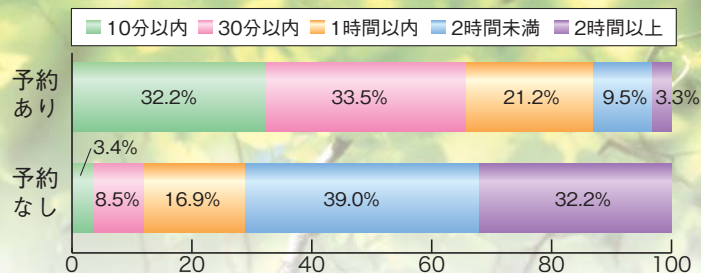


設備・院内環境



2 待ち時間について

		10分以内	30分以内	1時間以内	2時間未満	2時間以上
予約あり	件数(件)	231	240	152	70	24
	割合(%)	32.2	33.5	21.2	9.8	3.3
予約なし	件数(件)	2	5	10	23	19
	割合(%)	3.4	8.5	16.9	39.0	32.2



3 自由意見欄

以下の通り、多くのご意見をいただきました。
尚、紙面掲載の都合上、全ての意見を掲載しておりませんので、ご了承ください。

ご意見	返答
【診療関係】 49件 <ul style="list-style-type: none"> ●治療方法、使用する薬等についてよく説明してほしい。 ●医師によって説明が違うことがあり、不安になる。 	⇒今回のアンケート結果を診療科別にし、改善に向け努力いたします。
【待ち時間】 50件 <ul style="list-style-type: none"> ●待ち時間が長すぎて、具合が悪くなる。 ●予約の意味がない。 	
【職員の接遇】 50件 <ul style="list-style-type: none"> ●患者に対する口調や態度に気をつけてほしい。(医師) ●接遇態度を改善してほしい。(看護師) ●対応が事務的で冷たい。(事務) 	⇒接遇に関しては、各部署ごとに見直しをし改善を図ります。
【システム】 18件 <ul style="list-style-type: none"> ●紹介状なしで受診できるようにしてほしい。 ●予約の変更等がネットでできると良い。 	⇒改善に向けて、検討いたします。
【設備への意見】 95件 <ul style="list-style-type: none"> ●駐車場を増やしてほしい。 ●トイレに、手を拭く紙か、エアー乾燥機を設置してほしい。 ●食事ができる場所を増やしてほしい。 ●待合室の液晶画面が見づらい。 	⇒いただいたご意見は外来リニューアルの際の参考とさせていただきます。
【その他】 77件 <ul style="list-style-type: none"> ●クリアファイルからカードが落ちやすい。 ●安心、信頼して来院できる病院。 ●職員の対応が親切で感謝している。 	

4 アンケート調査を終えて

今年度の外来アンケート調査は、昨年度に比べ低い回収率となりましたが、患者さんやご家族の方の貴重なご意見をいただくことができました。(参考：平成25年度回収枚数 1,349枚 回収率 74.7%)

満足度に関しましては、多くの項目で満足していただいておりますが、職員の接遇や院内環境を改善し、更なる満足度の向上に努めていきたいと思っております。

待ち時間の項目では、昨年度に比べ状況が改善され、予約のある方に関しては、8割以上の方が1時間以内に受診することができました。しかし、予約のない方については、約7割の方を1時間以上お待たせしていることがわかりました。この結果を各診療科に示し、更なる待ち時間の改善に努力いたします。

また、自由意見で寄せられた設備・院内環境に関するご意見は、現在進行中の外来リニューアルの参考とさせていただきます。その他のご意見についても該当部署へ報告し、更なる患者サービスの向上を目指します。

今後も、自治医科大学附属病院の運営にご理解・ご協力をお願い致します。

患者さまからのご意見に対する回答

患者さまからいただきました貴重なご意見、ご要望について、以下の通り回答します。

トイレの清掃に関するご要望ですが、トイレ清掃の際には「清掃中」などの立て看板をして、トイレの出入りを中断して、短時間に清掃して頂けたらと思います。

この度は貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。
トイレ清掃時には、立て看板を置いて清掃中であることをお知らせし、また、混雑時の清掃は避けるなど、利用者をご不快な思いをすることのないように十分に配慮して清掃を行ってまいります。

駐車場が混んでいて困っています。病院の出入業者の方の車が多く停められているのでそれらと患者の駐車場を分けて貰いたいと思います。

この度はご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。
構内に業者用駐車場があり、出入業者には、そちらに駐車し、外来駐車場には駐車しないよう案内しているところですが、今後、業者が外来駐車場に駐車するのを見かけた場合は注意し、所定の駐車場に駐車するよう指導いたします。

リレーエッセイ

〈連載〉第2回

認定輸血検査技師について

輸血・細胞移植部
大槻 郁子



臨床検査技師は主に患者さんの血液などの検体検査や心電図、脳波検査などの生理機能検査を行っています。私の所属する輸血・細胞移植部は、患者さんが治療や手術で輸血が必要な時に、安全な輸血ができるように血液型検査などの輸血に関わる検査をしています。輸血療法は献血から得られる血液中の赤血球や血小板などを補充する治療法ですが、年々、深い知識、的確な判断力と技術が要求されてきています。同時に検査においても専門性が必要とされ、安全な輸血療法ができるように向上を目指し、認定輸血検査技師を取得しました。当院の輸血・細胞移植部には、9名の認定輸血検査技師が所属し、赤十字血液センターから供給された輸血用血液製剤を患者様へ迅速かつ安全に使用できるように一元管理し、24時間体

制で取り組んでいます。

血液製剤は献血事業によって成り立っていますが、少子高齢化により、献血者数は将来的に減少すると考えられています。患者さんに必要な血液製剤が必要な時に供給されるように、赤十字血液センターとの連絡を密にして調整しています。また、当院は三次救急医療施設のため、夜間・休日を問わず、大量に輸血を実施する症例や稀な症例にも対応しなければならないこともあります。私達は、このような緊急の患者さんに対しても、迅速で安全な輸血療法ができるように日頃から知識と技術を取得し努めています。

これからも医師、看護師をはじめとする院内の医療スタッフと連携し、患者さんに安全な輸血医療ができるように取り組んでいきたいと思っています。

トピックス

外来リニューアルのご案内

経営管理課
リニューアル推進室

当院では現在、外来リニューアル改修工事を行っております。

本年3月には、本館2階の外来②(内科外来跡地)に皮膚科、麻酔科、乳腺科、美容外科、形成外科、外来手術室が移転・運用開始しました。この外来②行きエスカレーターも更新となり、安全のため「ゆっくり」した速度にて運行しています。また、4月には、1階内視鏡検査西側に臨床試験

推進部が移転・運用開始しました。

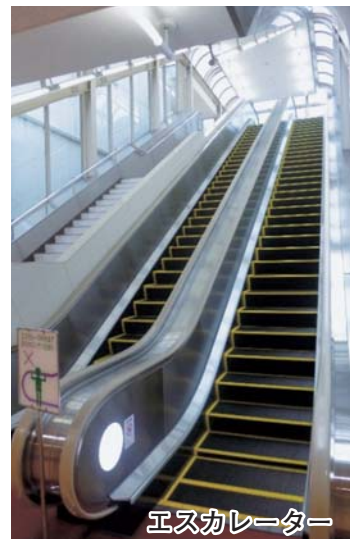
次の移転については、9月24日(木)に生殖医学センター検査エリアと再来受付機が、10月13日(火)には医事課入退院受付と薬交付窓口、総合相談室等が移転する予定です。

外来リニューアル改修工事により受付場所及び診療場所の変更等ご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【本年3月から運用開始した外来②】



皮膚科待合



エスカレーター



麻酔科待合



乳腺科・美容外科・形成外科待合

病

気

を

知

ろ

Do you know the illness?

〈連載〉

第22回

『 带状疱疹について 知っていますか? 』

皮膚科
村田 哲

带状疱疹になる人が増えてます。

宮崎県皮膚科医師会の調査で、2006年までの10年間で患者数は23%増加しました。増加のほとんどは60歳以上の方で、全体としては、50歳代以上で急激に増加します。2回以上带状疱疹になる人はめずらしいです。また、水ぼうそう（水痘）が流行した年は带状疱疹の発症が減少することもわかっています。

带状疱疹はなぜ起こる?

带状疱疹は、水痘と同じウイルスが原因で発症します。子供の頃に水痘にかかると、免疫（ウイルスに対する抵抗力）ができて治ります。ウイルスは免疫の監視の届かない神経の中にはいりこみおとなしくしています。この間は、新たに水痘に感染しても、体の免疫が覚えているので水ぼうそうはできず、むしろ免疫が強まるので带状疱疹も発症しません。免疫が弱まるとウイルスは神経の中で増え、その神経を伝わり皮膚に達すると带状に皮膚に水ぶくれ（水疱）をつくります。免疫が回復するとウイルスは再びおとなしくなり治ります。2014年10月から水痘ワクチンの小児への定期接種がはじまりました。今後、水痘の子供が減り、带状疱疹になる高齢の方がさらに増えるかもしれません。

どんな症状ですか?

最初にちくちくした痛みがあり、数日するとそこが赤くなり（紅斑）、水ぶくれ（水疱）ができ、1～2週間で増えていきます。この間に痛みが急に強くなります。その後、水疱はかさぶたになり、3週間から1ヶ月でそれがとれ治ります。体の真ん中を境に左右どちらかに症状がでることが特徴です。痛みの強さは人によって異なりますが、普通、皮膚の症状とともに消えていきます。激しい痛みを感じた人の中には、その後も神経痛が残ることがあり带状疱疹後神経痛といわれます。この神経痛を残さないように適切な治療をなるべく早く行う必要があります。同じ場所が数日、ちくちくと痛んだり、そこが、赤くなり始めたら、すぐに皮膚科を受診してください。



どうやって治療しますか？

基本は、抗ヘルペスウイルス薬の飲み薬です。ウイルスを殺すことはできませんが、増えるのを阻止しますので、なるべく早く飲み始めることで大切です。飲み始めても数日は症状が悪化しますが、指示通りに服用してください。勝手に服用量を増やしたり、途中でやめたりしないでください。めまい、吐き気など新しい症状がでたときは、すぐに受診した皮膚科に相談してください。必要に応じて痛み止めの飲み薬も処方されます。

普通に生活をつづけてもいいですか？

症状が軽くても、1～2週間は外出や運動を避け、自宅で安静にしてください。増えてしまったウイルスと戦えるのは自分の抵抗力（免疫）だけです。抵抗力を回復させるために、十分な休養が必要です。食事もとり栄養をつけてください。食が進まないときでも、水分は十分にとることが必要です。水疱が乾いたら通常の生活に戻っても大丈夫です。

痛いときは冷やしてもいいです？

冷やしてはいけません。痛みが悪化し、神経痛が残りやすくなります。夏の冷房や冬の寒冷も避けます。患部をできるだけ温め血行をよくします。使い捨てカイロや温湿布を使用するときは、やけどやかぶれに注意します。



入浴してもいいですか？

湯船に入って温まる方が痛みは和らぎますので、ゆっくりと入浴しリラックスしてください。石鹸も使用してもよいです。ただし、水疱は極力やぶらないように気をつけて下さい。体をふくときも清潔なタオルで軽くおさえるようにします。

水疱がやぶれたら消毒しますか？

消毒はしません。シャワーで洗い流し、清潔に保ちます。外用剤をもらっているときは、たっぷりと傷にぬりガーゼで保護し、剥がすときは、シャワーで濡らしてから剥がすと、よいでしょう。

他の人が触っても大丈夫ですか？

触っても他の人にうつることはありません。ただし、水ぼうそうにかかったことがない人には、水ぼうそうとしてうつることがあります。小さな子供や妊娠している人との接触は避けましょう。

ワクチンの接種で带状疱疹を予防できますか？

日本で使用されている水痘ワクチンを高齢者に接種すると、水痘ウイルスに対する抵抗力を高めることができます。带状疱疹の予防効果が期待されていますが、まだ適応はとれていませんので、希望される方は自費診療で接種をおこなっているクリニックでうけることとなります。

診療科・部門のご案内

小児移植外科

私たちは、子どもの肝硬変や肝不全の患者さんへの肝移植治療を専門にした部門です。2001年4月に「小児外科・移植外科」として誕生しましたが、それぞれの部門の症例数の増加に伴い、2004年1月から「小児外科」と「移植外科」の2つの診療科として独立しました。2015年4月から子ども医療センターでの診療科を「小児移植外科」とさせて頂きました。

現在の生体肝移植の症例数は約20例で、これは我が国の小児肝移植の約15%にあたります。術後も全例当科でフォローアップしており、移植後10年生存率は95%と全国で最も良好な成績となっています。患者さんも北関東だけでなく、南関東、北陸、甲信越とこれまで全国20都県からご紹介を受けています。

移植医療は、チーム医療の代表格でもあります。紹介病院、コーディネーター、移植外科、消化器外科、麻酔科、ICU、消化器内科、小児科、放射線科、感染症科、病理部、薬剤部、輸

血部、透析センター、看護師、放射線・検査技師、事務職など、一人の患者を救うために100人以上のメディカル・コメディカルスタッフが深く関わることとなります。特に、劇症肝炎や脳死肝移植などの緊急肝移植の場合は、関係各部署の方々のご理解とご協力、病院内外での迅速な連携が不可欠であり、病院全体、大学全体に支えられているという感謝の念を忘れずに、毎日の診療に従事しています。

これからも肝移植でしか助からない子どもたちのために、日々、技術と知識を磨いていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

小児へ生体ドミノ肝移植、国内初の成功



2014年8月25日 NHKニュース

2014年8月26日 朝日新聞

ドミノ肝移植メディア報道



小児移植外科 集合写真



小児移植外科 手術写真

臨床工学部

私たち臨床工学部は臨床工学技士という国家資格を持ったスタッフです。臨床工学技士は1987年に制定され、医師の指示のもと生命を支える機器を中心に操作・保守管理を行い、医学と工学の知識を基に医療機器のスペシャリストとして患者さんの診療のサポートを行っています。おもに携わる部署は透析センター、手術室、心血管撮影室、機器管理室です。透析センターでは、人工透析という腎臓の代わりに血液をきれいにする治療を行っています。手術室では人工心肺装置という心臓手術などの際に患者さんの心臓と肺の代わりにする機器の操作を行っています。心血管撮影室では、心筋梗塞な

ど心臓に酸素と栄養を送る血管が詰まる病気の治療(心臓カテーテル治療)に対し医療機器でのサポートを行っています。機器管理室では、ペースメーカーという脈が遅くなった患者さんに使用する機器の手術・外来のサポートや、呼吸を補助する人工呼吸器の点検、その他いろいろな医療機器の保守管理を行っています。

患者さんと直接向き合う機会は少ないですが、安全を守るため他職種の人達と協力しています。臨床工学部は治療を支える縁の下の力持ちとしてこれからも頑張っていきたいと思えます。



手術室



透析センター



心血管撮影室



機器管理室

秋の味覚レシピ

きのこ炊き込みご飯

きのこ大豆を使った炊き込みご飯をご紹介します。

このレシピでは食物繊維を多く含むきのこ大豆を使用しているため、1人分で食物繊維を約4gとることができます。これは、日本人の食事摂取基準（2015年版）における食物繊維の目標量（男性20g/日以上、女性18g/日以上）の約20%に相当します。

また、今回はたんぱく質源として鶏肉や油揚げの代わりに「乾燥大豆」を煎って使用しました。普段乾物を利用する機会が減っていますが、ぜひお試しください。

このレシピでは食塩が1.0gと市販の物より塩分が少なめですが、おかずと一緒にとることを考えた味付けにしました。

材 料 (1人分)

米	70g
水	2カップ
人参(皮むき)	10g
しいたけ	10g
しめじ	25g
舞茸	20g
大豆(乾燥)	10g
醤油	5g
食塩	0.3g
酒	4g



1人分栄養素

エネルギー	312kcal
食物繊維	4.1g
食塩	1.0g

作 り 方

- しいたけは石づきを取って縦に薄切りにし、しめじと舞茸は根元を少し切り落として食べやすい大きさにほぐします。人参は太めの千切りにします。
- 乾燥大豆を弱火で、表面の皮がはじけるまでじっくり煎ります。
- 米を研ぎ、炊飯器の釜に入れます。そこに計量した水を入れて浸します。
この時冷ました煎り大豆も一緒に入れます。
(煎り大豆を浸水しないでそのまま入れるレシピもありますが、今回大豆は一晩浸水しました)
- 浸水後調味料を入れ、準備した人参、きのこ類もすべて入れます。
- 炊飯器のスイッチを入れて、炊き上がったら完成です。お好みでネギなどを飾ります。

☆きのこ炊き込みご飯を使った献立例☆ 炊き込みご飯、焼き魚、浸し

主菜には下味をつけず、食べる時にポン酢などのタレをかけると減塩になります。野菜類の小鉢を1品つけるとさらに食物繊維がたっぷりです。



担当：臨床栄養部 三浦詩乃

検査の豆知識



放射線部で行う検査・治療は、病気の早期発見・確定診断・機能温存を目指す治療など、医療において重要な役割を担っています。今回は、放射線の人体への影響と、撮影を受ける際の注意点についてお伝えします。

1、放射線って本当に安全？

現代の医用放射線は、高い技術によって安全に管理・利用されています。通常の検査では、人体に影響を及ぼすと言われる量よりも、はるかに少ない量を使っています。

“放射線＝被ばく”という負のイメージが先行しがちですが、検査による人体への影響以上に、撮影することによって得られる情報のメリットは大きいのです。必要最低限の量で検査を行いますので、身体的症状が現れる事はありません。どうか、ご安心下さい。

2、一般撮影検査 ～どんな感じで撮影するの？

レントゲン撮影とも呼ばれ、大きく分類すると、①胸部・腹部の撮影
②脊椎・四肢などの骨軟部撮影 ③乳房検査のマンモグラフィがあります。

撮影室に入ったら、まずは、検査着に着替えて頂きます。
(着衣に撮影上の問題が無ければ、そのままの場合もあります)

その後、機械に胸を付けたり、撮影用のベッドに寝て頂く事になります。撮影部位や目的によって、適した方法や体位がありますので、担当技師が説明・誘導させて頂きます。体位調整の際には注意を払いながら行いますが、痛みや、気になる点がありましたら、何時でも担当技師に申し付け下さい。



3、レントゲン撮影での注意点

放射線は目に見えない、強い光のような存在です。撮影時には一瞬で、痛みも与えずに人体を透過してゆきます。この体を通り抜けた放射線は、私達に、白黒の画像として体内の様子を教えてくれるのです。しかし放射線は、どんな物質でも透過出来るわけではなく、苦手な物もあります。

放射線が透過するのに邪魔になってしまうような、本来、人体には無い物は、身に着けないで検査を受けて頂く必要があります。

具体的には、プラスチック・金属製品(ヘアピン・ネックレス・時計・携帯・補聴器など)があります。服のボタンやホック、革製品、エレキバンや湿布なども妨げになります。これらが撮影する範囲にあると、間違った診断の元になりかねません。担当技師も注意しておりますが、ご不明・ご不安に感じた場合は、担当技師にお声かけ下さい。



担当：中央放射線部

お知らせ掲示板

自治医科大学附属病院の各部署のご案内

七夕コンサートの開催について

看護部・患者サービス検討委員会

7月4日(土)に本館1階生理機能検査室にて、七夕コンサートが開催されました。今回は、国立音楽大学の櫻井由梨さんや宇都宮短期大学附属高校音楽科の皆さん、そして本院臨床心理士の稲田美和子さんに演奏していただき、多くの患者さんや面会者の方々にお越しいただきました。

第一部は、櫻井さんによるエレクトーン演奏で幕が開け、まるでオーケストラのような迫力ある演奏を聴かせてくださいました。また、稲田さんの二胡とのコラボレーションでは、「きれいな音楽に心が癒された」という方が多くいらっしゃいました。

第二部では、宇都宮短期大学附属高校の皆さんが、エレクトーン、トランペット、サクソフォンで、「ふるさと」など馴染み深い曲を演奏してください、会場の皆さんが楽しそうに口ずさむ様子が見られました。

コンサート終了後には、「希望を与えてくれるような素晴らしいコンサートだった」、「また前向きに治療に臨めそう」との感想を多数いただきました。今後も、皆さんに喜んでいただけるようなコンサートを開催していきたいと思います。



病院敷地内全面禁煙のお知らせ

健康増進法では、学校や病院など多数の者が利用する施設において、受動喫煙(他の人のたばこの煙を吸うこと)の防止を定めております。

当院では、法の主旨に基づき、平成20年9月1日から病院敷地内を**全面禁煙**としております。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。



禁煙したい方へ

**当院には禁煙外来がございます。
電話予約のうえ、受診ください。**

- 診察日 毎週月曜日 午後3時～4時
(完全予約制)
- 連絡先 自治医科大学附属病院 呼吸器内科
0285-58-7467(直通)
午後2時～午後4時(土日祝祭日除く)

ふれあい看護体験

看護部

看護部ではナイチンゲール生誕の日に併せ、毎年5月に高校生を対象に「ふれあい看護体験」を実施しています。例年募集定員の100名を上回り、全ての人に体験をして頂くことができません。そこで今年7月にも募集をし、看護に関心を持ち応募してきた50名の高校生に「看護体験」を実施しました。10時から12時までの約2時間余りの体験ですが、参加者の感想からは「看護師はいつもやさしく笑顔で患者さんに関わっている」「患者さん一人ひとりに向き合う姿勢に感動した」「決して簡単な仕事ではない」「とても重要な責任のある仕事をしている」「ますます将来看護師になりたいという思いが強くなった」「いつも人数制限があり参加できなかったが、今回参加できたことで自分の将来の進路について真剣に考えることができ、本当に良かった」等、有意義な時間を過ごすことができたようです。「将来、ぜひ看護師になって、一緒にこの病院で働きましょね」と期待を伝えました。



オリエンテーション



体験風景

自治医科大学附属病院の理念・基本方針

理念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域と連携する医療
4. 地域医療に貢献する医療人の育成

基本方針

1. ①安全な医療 ②人間味豊かな医療 ③質の高いチーム医療 ④高度で先進的な医療 を提供します。
2. 情報公開を積極的に推進します。
3. 地域の医療機関との連携を深めます。
4. 地域医療に気概と情熱を持ち、全人的な医療を実践する医療人を育成します。

患者の皆様の権利と義務について

【患者の皆様の権利】

- 1 個人として尊重された上で適切な医療を受ける権利があります。
- 2 安全に配慮した高度で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 3 病状や治療内容について十分説明を受ける権利があります。
- 4 十分な説明を受けた上で、治療方法等を自らの意志で選択決定する権利があります。また、治療方法等について、他の医療機関(医師)にセカンドオピニオンを求める権利があります。
- 5 申し出により診療録の開示を受ける権利があります。
- 6 診療に関する個人情報保護が尊重される権利があります。

【患者の皆様の義務(ご協力いただきたいこと)】

- 1 ご自身と他の患者の皆様療養環境に支障を来さないよう、法令と当病院の規則を守り、当病院スタッフの指示に従って行動してください。
- 2 適切な医療を行うために、ご自身の健康状況について出来るだけ正確にお話してください。
- 3 本院は特定機能病院として、より多くの急性期で重症な患者様の治療に携わりたいと考えております。このため、本院での治療や検査を終了し、病状が安定した患者様は、本院と緊密な連携を保っているお近くの医療機関へご紹介することとしております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- 4 特定機能病院であり教育機関でもある当病院の役割をご理解の上、医学生・看護学生等の見学・実習・研修にご協力ください。
- 5 当病院の敷地は、建物内、外周ともに全て禁煙ですので、喫煙は絶対にしてしないでください。
- 6 本院は大学附属病院として、臓器移植法により脳死臓器提供施設に指定されており、同時に脳死臓器移植実施施設(肝臓・腎臓・小腸)に認定されているため、緊急の脳死臓器提供や臓器移植手術のために、患者様の予定されていた手術が急遽遅延したり、中止になったりする可能性があります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ボランティア募集

自治医科大学附属病院

- 活動日 月～金（祝日除く）
- 場 所 自治医科大学附属病院
- 内 容 外来中心 診察申込書記入の代筆、院内の案内、車椅子の患者様の介助など



お問い合わせ先

自治医科大学附属病院
地域医療連携・患者支援部 ボランティア支援室

TEL 0285-58-7103 (直通)

とちぎ子ども医療センター

- 活動日 月～金（祝日除く）9:00～17:00
- 場 所 子ども医療センター
- 内 容 外来（案内・見守りなど）
病棟（保育・学習・読み聞かせなど）
作業（手芸・園芸・装飾など）



花咲jii

- 活動日 毎月第3又は第4日曜日（午前中）
- 場 所 子ども医療センター 外庭
- 目 的 美しい花、香りのある木、実のなる樹木を植え、季節感を与え、病気と闘う子どもたちや家族を元気づける
- 内 容 花木の植栽、除草、花床の整備など



お問い合わせ先

とちぎ子ども医療センター ボランティア室

TEL 0285-58-7815 (担当: 鈴木)

ご意見・ご感想

「自治医科大学附属病院だより」へのご意見・ご感想をお寄せください。

ご連絡先▶自治医科大学附属病院 経営管理課 TEL 0285-58-7103 メールアドレス soumu@jichi.ac.jp

ご面会について

ご面会の時間は次のとおりです

本館・新館 ●平日 13:00～20:00
●土・日・祝日 13:00～20:00
(ただし、産科病棟は、毎日 15:00～19:00)

・ご面会の方は、必ず本館1階総合案内「面会者受付」で受付し、**パス**を付けていただき各病棟のスタッフステーションで**許可**を受けてから病室にお入りください。

子ども医療センター 15:00～19:00

・ご面会の方は総合案内にて受付をして、**面会カード**を首から提げて病院の入り口でインターホンを押し、お名前とお子様との関係をお話ください。

※ご面会は決められた時間内に短時間をお願いします。

※大勢のご面会はお遠慮ください。

※お子様は感染防止のため、お連れにならないでください。

面会の際には、
時間を守りま
しょう。

第22号

自治医科大学附属病院だより

〒329-0498
栃木県下野市薬師寺3311番地1
TEL 0285-44-2111
FAX 0285-40-6016
URL <http://www.jichi.ac.jp>

発行日/平成27年8月1日
編集・発行/自治医科大学附属病院
病院広報戦略会議
印刷/(株)松井ピ・テ・オ・印刷